

IPSecトンネルに対する自動サードレベルフェールオーバーの中断

内容

[はじめに](#)

[概要](#)

[この変更を行う理由](#)

[ディザスタリカバリデータセンターはどうなりますか。](#)

[第3レベルのデータセンターフェールオーバーを引き続き使用する場合はどうすればいいですか](#)

[へ](#)

はじめに

このドキュメントでは、IPSecトンネルの自動サードレベルフェールオーバーの中断について説明します。

概要

2023年1月18日から、米国、カナダ、ブラジル、メキシコのIPSecトンネルに対する自動の第3レベルフェールオーバー（ディザスタリカバリ）のサポートが停止されました。

欧州、アフリカ、アジア、オーストラリアでの変化が続きます。

この変更を行う理由

Cisco Umbrellaが初めてセキュアインターネットゲートウェイのIPsecトンネルサポートを導入した際に、アーキテクチャの決定を行い、設定の複雑さを最小限に抑えながらサービスの信頼性を最大限に高めました。主な機能には、エニーキャストベースのデータセンターペアを使用したIPsecフェールオーバーや、ペアの両方のデータセンターが使用できなくなった場合のディザスタリカバリ用データセンターへの第3レベルのフェールオーバーなどがあります。

システムの運用とアーキテクチャへの投資が続いているため、第3レベルのフェールオーバーはデフォルト設定としては適していません。

ディザスタリカバリデータセンターはどうなりますか。

以前は第3レベルのIPsecフェールオーバー専用だった3つのデータセンターを、通常のIPsecデータセンターとして転用し、プライマリまたはバックアップのIPsecトンネルに使用できるようにします。

Dallas-Fort Worthは、プライマリまたはバックアップのIPSecトンネルですでに使用できます。アムステルダムと大阪が後を追うつもりだ。詳細については、「[トンネル経由でのCisco Umbrellaへの接続](#)」を参照してください。

第3レベルのデータセンターフェールオーバーを引き続き使用する場合はどうすればいいですか。

ほとんどの場合、リージョン内の各DCに1つずつ、2つのトンネルを設定し、トンネルごとに一意のIPsecトンネルIDを設定することをお勧めします。ただし、特定のサイトからIPsecトンネルを1、2、3、または4つ設定することを選択できます。1つのトンネルでエニーキャストベースの自動フェールオーバーによる冗長性を提供

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。